広報いんざい市長室

山崎山洋

3月23日の合併から2カ月余り経過しましたが、特に混乱もなく新「印西市」へ順調に推移しています。改めて、合併にご協力をいただいたみなさまに心からお礼を申し上げます。

さて、去る5月11日の平成22年第2回印西市議会臨時議会で、一般会計補正予算が成立いたしました。この補正予算は、合併前にそれぞれの市村で編成した予算を統合するもので、合併後の印西市の骨格となる予算になります。

今回の補正で行う事業は教育関係で、小中学校芸術文化体験事業200万5千円（旧印旛・本埜地区を含めた、さわやかハートフルコンサート、小学校芸術鑑賞教室などの経費）や小学校維持管理補修事業661万5千円（合併に伴う旧印旛村4校・旧本埜村3校分の施設維持管理の修繕費）など。

福祉関係で、高齢者在宅福祉事業511万3千円（高齢者福祉タクシー、外出支援サービスなどの在宅福祉サービス事業に係る経費）や市単独の就園奨励事業101万円など。

環境関係で、合併処理浄化槽設置事業1,719万円（環境関係で、小型合併処理浄化槽設置費補助金）や太陽光発電システム等設置費補助事業1,600万円（太陽光発電システムおよび太陽熱利用温水器設置費補助金）など。

都市機能関係で、道路維持修繕に要する経費1億4,828万5千円（合併に伴う道路維持修繕費）、道路新設改良費1億1,762万5千円（旧印旛の工事2路線および荒野前・鎌始メ線設計調査など）や都市計画GIS整備事業175万4千円（合併に伴う旧印旛村、旧本埜村の地図および都市計画情報のデータを構築しシステムに反映させる事業）などになります。

今回の補正で、平成22年度の一般会計の総額は歳入・歳出とも309億9,582万7千円になります。

この予算は、市民のみなさんに合併して良かったと思っていただくため、合併後の一体化を促進する新しいまちづくりため執行するものです。

今、わたしたちの生活は便利になり、蛇口をひねれば、いつでもきれいな水道水が出てきます。

しかし、この「水」は無限にあるわけではありません。水道水の元となる水は、川の水、ダムにためた水、地下水などです。川などから取り入れた水を安心して飲める水道水に変えるために、多くの手間や時間、費用がかかります。

また、近年の少雨傾向により、渇水の発生率が高くなっています。

わたしたちの毎日の暮らしになくてはならない大切な水。日ごろから節水を心掛けましょう。

市営水道の概要

市営水道は、市村合併により、大森・木下・小林地区、松崎工業団地のほか、新たに旧印旛村の岩戸、大廻、鎌苅、平賀、平賀学園台、山田、瀬戸、吉高が給水区域に加わりました。

現在は、利根川を水源とした浄水を購入して、給水区域内の加入世帯約5，883戸に年間約186万㎥の水を給水しています。

なお、千葉ニュータウン区域につきましては、千葉県水道局、旧本埜村の一部については長門川水道企業団の給水区域となります。

水道水の利用

旅行などで、長い間家を留守にした時は、給水管の中に水道水が長時間滞留しているため、消毒用の塩素が少なくなります。念のため、最初のバケツ一杯分程度は飲み水以外にご使用ください。

加入手続きのご案内

家が市営水道の給水区域内にあることが条件となり、工事は指定給水装置工事事業者（以下「事業者」）に依頼します。

①事業者に、工事を申し込む。

②事業者が、市水道課に工事の申請書を提出し、承認を受ける。

③事業者が図面に基づき、施工。

④工事終了後、事業者が市水道課に検査願いを提出。

⑤市水道課職員が図面に基づき検査を実施。合格すると給水を開始。

※給水申込納付金、工事費などは、自己負担です。工事費については、事業者とよく相談してから申し込みをしてください。

水道水の安全性

市営水道は水圧も充分あり、水質基準に基づく検査を常時行っているので安心してご利用いただけます。

さらに、水に不純物が少ないので、家庭で使用する給湯器などに水あかが付きにくいため、熱効率が良く、器具の保護にも役立っています。

こんなときにはお届けを

水道の使用開始・中止・移動に関することは、全て届出が必要となります。

合併前の印西市で水道を利用している人は、水道料金徴収事務受託者の「第一環境㈱」（☎㊷8201）に、また、旧印旛村で水道を利用している人は、市水道課までご連絡ください。連絡がないと水道を使用しなくても、基本料金をいただくことになります。

漏水・悪徳業者にご用心

◆漏水の点検を心掛けましょう

検針票をみて「使用水量が多いな」と思ったら、漏水のチェックをしてください。まず、宅内の蛇口を全て閉めて、水道を使っていない状態にしてください。この状態で水道メーターの銀色の部分が回転していると漏水の可能性があります。

漏水の場合でも水道料金をいただくことになりますので、早めに水道課へご相談ください。

宅地内の水道管は、お客様の財産です。日ごろから点検・管理に心掛けましょう。

◆悪質業者にご注意

市水道課職員や公的な団体の職員を装って各家庭を訪問し、給水管の清掃を勧めたり、検針票だけで料金の支払いを求めるなどの詐欺行為が発生しています。くれぐれも騙されないようにご注意ください。

市水道課では、お客様からの依頼がない限り、職員が直接、訪問することはありません。

また、職員は「身分証明書」を携行していますので、不審に思われた場合は、提示を求めてください。

※詳しくは左記まで。

問水道課（本埜支所内・☎㊼1111・内線603）。

こども110番の推進にご協力を

市内では、地域の子どもたちの安全・安心な生活環境を整備するとともに地域社会の防犯意識を高め、市民を巻き込む犯罪の発生を抑止する効果を発揮させるために「こども110番」のステッカーや看板を家庭や事業所など、地域の中に掲示しています。今年度も「こども110番」協力家庭・事業所をさらに拡大し、地域防犯の推進に役立てていきたいと思いますので市民のみなさんのご協力をよろしくお願いいたします。

問生涯学習課生涯学習推進班（☎㊽1120）。

印西市地区健康推進員を委嘱

去る4月21日に、平成22年度印西市地区健康推進員の委嘱式が行われました。

地区健康推進員は「印西市の人たちがこれからも健康で若々しく楽しい生活を送るために」を活動目標に掲げ、自分の健康は自分でつくるという考えのもと、地域の健康づくりの輪を広げるため活躍しています。

主な活動は、地区活動として公民館などで運動や栄養、休養などについて講習会を開催したり、市が行う事業の協力などで、みなさんの身近な場面で健康づくりのリーダー役となっています。

※青字は新規および再委嘱推進員。

【印西地区】

◉木下小地区…▼吉田文子▼植本惠子▼新田峰子▼熊谷操▼今井洋子▼後藤美津子▼野中イツ子▼椎名澄子▼海寶康江丹澤慶子

◉大森小地区…▼板倉美惠子▼西岡昭子▼大谷美惠子▼鈴木美智子

◉小林小地区…▼篠原俊子

◉小林北小地区…▼長谷川文子

◉木刈小地区…▼三石千恵▼大高晴美▼松村きみ子▼山田博子▼吉田芳彦

◉小倉台小地区…▼伊藤朗子▼櫻井惠子▼中島さと子

◉内野小地区…▼小松亜希子▼田中登美子

◉原山小地区…▼久芳啓子

◉高花小地区…▼奥山喜久惠▼榎田絹江▼乾美知男▼千々石榮子▼春日美智子▼河原直子

◉西の原小地区…▼大原ちづ子▼大浪久美子

◉原小地区…▼岡田初枝▼伊藤京子▼伊藤桂子

【印旛地区】

◉六合小地区…▼寺本照子▼飯田みよ▼米井治子▼香取晴子▼二宮眞由美▼五十嵐秀子▼富井美佐子▼船津次子▼黒岩桂子▼天野由利子▼小山典子▼平山公子▼平山正子

◉平賀小地区…▼鵜澤玲子▼齊藤和子▼森田悦子▼岡本千賀子▼和田慶子

◉宗像小地区…▼伊藤文子▼篠田祥子▼武藤喜代美▼根本静子▼加藤美枝子▼柴倉光子▼栗原清子▼齋藤恵智子▼櫻井由紀子▼櫻井順子▼宮内芳江▼齋藤成子▼鶴岡栄子

◉いには野小地区…▼山本良枝▼川俣陽子▼松本妙子▼土谷美喜子▼栗田真砂子▼中島優子▼山本千重子

【本埜地区】

◉第一小地区…▼岩井美佐子▼遠藤道子▼川上るり子▼鈴木眞紀子▼土井喜美子▼小川君子▼岩井博子▼岩井則子

◉第二小地区…▼高原幸子▼森山テルエ▼小久保万里▼古川光子▼川村香▼日暮政江▼小林和子▼青柳和江

◉滝野小地区…▼鈴木文栄▼島田有利子▼藤城寿美江▼堀江裕美

―敬称略―

問中央保健センター（☎㊷595）。

シリーズ・心の道標⑭

心の病気の治療法　その1

問社会福祉課障害福祉班（☎内線268）

心の病の治療法には、大きく分けて「薬物療法」と「精神療法」があります。「薬物療法」は薬を使用し、直接「脳」に働きかけ、さまざまな精神症状を改善する治療法です。

使用する薬には「抗精神病薬」「抗うつ薬」「抗不安薬」「気分安定薬」「睡眠鎮静薬」「抗てんかん薬」などがあります。症状によっては「脳」の血流や代謝を促進する「脳代謝賦活薬」や「漢方薬」が使用されることもあります。

「薬物療法」で最も大切なことは「医師の指示を正しく守る」ことです。「症状が改善しないから」「数日服用し、症状が改善した」などの理由で、勝手に増量・減量、中断をしてはいけません。少なくとも、服用を開始してからは2～3カ月は継続しましょう。その上で医師に相談してください。

また、吐き気やふらつきなどの副作用と思われる症状が出たときも、速やかに医師に相談しましょう。